

花巻市 博物館だより

HANAMAKI
CITY MUSEUM



No. 75

2025.4



花巻市博物館HP



Facebook



Instagram

目次

- ▶P1テーマ展「酒造りのわざー南部杜氏の美酒をたどるー」 ▶P2令和7年度展示案内 ▶P3令和7年度講座・ワークショップメニュー
- ▶P4テーマ展「酒造りのわざー南部杜氏の美酒をたどるー」 ▶P5テーマ展「戦後80年 戦争と花巻」
- ▶P6活動レポート「令和6年度市内小中学校利用状況報告」・市史編さん室からのお知らせ
- ▶P7館長コラム・インフォメーション ▶P8花博コレクション

花巻市博物館令和7年度テーマ展

酒造りのわざ

ー 南部杜氏の美酒をたどるー



写真：酒造風景（川村酒造店／昭和期）花巻市教育委員会文化財課所蔵

2024年12月、日本の「伝統的酒造り」がユネスコの無形文化遺産に登録されました。杜氏や蔵人などが麹菌を用い、長年の経験に基づいて築き上げてきた日本における酒造りの技術は、500年以上前に原型が確立したといわれています。日本各地の気候や風土に応じて発展し、日本酒、焼酎、泡盛、みりん等の製造に受け継がれてきました。また、祭事や婚礼といった日本の社会文化的行事に酒が不可欠な役割を果たしており、伝統的酒造りはそれを根底で支える技術でもあります。

岩手県花巻市石鳥谷町は、江戸時代から酒造りの盛んな地域で、農閑期の出稼ぎの手段として酒造りに携わる人々が多くいました。「南部杜氏」と呼ばれる南部流の酒造技術の伝統を受け継ぐ杜氏たちは、現在も全国各地の酒蔵で活躍し続けています。

館長
コラム

近世考古学のはじまり

江戸東京博物館は、大規模改修工事のため2022年から休館しているが、改修前の博物館の常設展示室には、私が学生時代に発掘調査に参加した一橋高校内遺跡の出土品などが展示されていた。

一橋高校内遺跡は、1975年に学校校舎の建て替え中に発見され、急遽発掘調査が行われた。ここでは、地下1～3mから江戸時代の町並みの一部が発見され、寺院や商家、上下水道・地下室（むろ）などの遺構や、数多くの生活用品が出土した。当時は、大学から近いこともあって、私も早い時期から同級生数人と参加していたが、地下で発見された遺構の周辺は、低地であったためかヘドロの臭いが凄く、アルバイトで募集された学生たちは数日で皆辞めてしまった。しかし、私たちは格好良く言えば、考古学者を目指す「考古学徒」であったことから、調査期間が終わるまで頑張った。

調査現場で印象に残っているのは、江戸の歴史上最も大規模な火災となった「明暦の大火（振袖火事）」の焼土層。その厚さに驚き、発掘調査は現実起こったことを掘り出す仕事なのだと改めて実感した。毎日のように通っていると、不思議なことに臭いはほとんど感じなくなった。後で知ったことだが、人の嗅覚は疲れ易いらしく、慣れてしまうと臭いを感じにくくなってしまふもののだとか。

ある日、同級生数人と現場から出て一緒に電車に乗ると、少し混んでいた電車の乗客が、私たちの周りだけいないことに気づいた。その理由はほどなくわかった。どうも私たちは相当に「クサイやつら」であつたらしい。いつの間にか、服だけではなく、体にも髪にも例のニオイが染みついていたのである。

2025年1月、江戸遺跡研究会主催による「江戸遺跡研究の論点と現状～都立一橋高校発掘調査50周年～」というフォーラムが日本大学で開催された。一橋高校内遺跡の発掘調査が、東京で近世考古学が本格的に始まる端緒になったとされており、あの悪条件の中で少しでも手伝うことができたことは感慨深い。

令和7年4月～7月の行事予定

【企画展示室】

●テーマ展「酒造りのわざ

—南部杜氏の美酒をたどる—

会 期：4月24日(木)～6月22日(日)

●テーマ展「戦後80年 戦争と花巻」

会 期：7月5日(土)～8月24日(日)

【ワークショップ】

ワークショップのオンライン申し込みはこちら▼



勾玉づくり



琥珀玉づくり



縄文弓矢
火おこし体験



花巻人形
絵付け体験

【講 座】

◆館長講座-1

「花巻の道標は語る～北上川東岸の様相～」

日 時：6月15日(日) 13:30～15:00

定 員：30名 ※要申込

費 用：無料



館長講座-1

※ワークショップ、講座ともに参加申込みは開催日の1か月前から前日までに申込みフォームまたはお電話にてお申込みください。
※各ワークショップ、各講座の会場はいずれも花巻市博物館講座・体験学習室です。

◆学芸員講座-1

「古代花巻地域の集落遺跡と赤彩土師器」

日 時：6月8日(日) 13:30～15:00

定 員：20名 ※要申込

費 用：無料



学芸員講座-1

◆学芸員講座-2

「戦後80年 戦争と花巻」

日 時：7月13日(日) 13:30～15:00

定 員：20名 ※要申込

費 用：無料



学芸員講座-2

◆古文書講座

講 師：兼平賢治氏(東北学院大学教授)

日 時：7月19日(土) 13:30～15:00

定 員：20名 ※要申込

費 用：無料



古文書講座

※古文書講座は第1回のお申込みで全3回のお申込みとなります。

花巻市博物館

〒025-0014 岩手県花巻市高松第26地割8番地1
電 話：0198-32-1030 FAX：0198-32-1050
開館時間：午前8時30分から午後4時30分まで
休 館 日：12月28日から1月1日まで

入館料	小学生・中学生	150(100)円
	高校生・学生	250(200)円
	一般	350(300)円

※()内は20名以上の団体割引料金です。

※割安な近隣4館共通券もあります。

※特別展示を行う場合、別に入館料を定める場合があります。

交通案内

◆バス

新花巻駅→賢治記念館口
コミュニティバス 土沢線
シーナシー花巻前行…約5分
花巻駅→賢治記念館口
コミュニティバス 土沢線
道の駅とうわ行…約20分

◆車

花巻空港ICより…約10分

◆徒歩

新花巻駅より…約25分

